第６８号　医療安全通信 vol. 10－３

金沢医科大学氷見市民病院
医療安全小委員会
2017 年 11 月　日　発行

回覧											

医療安全通信は、各部署で回覧サインし、保管お願いします。

「初心に立ち返って」　医療安全コラム

胸部心臓血管外科　小畑　貴司

小畑医師と川縁看護師

「大きな事象は小さいことの積み重ね」と言われています。皆さんが日々の業務を無事に終えていることは「小さいことの積み重ね」の結果であります。無事に終えるためには決まり事（ルール）を守っていることが大切です。さて、そのルールを正しく覚えているでしょうか？ルールがあることを知っているでしょうか？「知らなかった」「忘れていた」「知っていたけど間違った」「間違って覚えていた」などの経験はないでしょうか？私は全て経験あります。そこで、ルールがあることは覚えましたが、ルール自体を覚えることはやめました。忘れていたり、間違って覚えているからです。ルールを手帳に書き込んで持ち歩くようにしました。もちろん「医療安全ハンドブック」も開いてみます。書いてある通りにすればインシデント発生を低減できるからです。「初心忘るべからず」習い始めたころの未熟さや、最初の経験を忘れないように笑顔で業務を行いたいと思っています。

回復期リハビリテーション病棟の「内服管理」の取り組み

回復期リハビリテーション病棟　師長　泉　晴美

回復期リハビリテーション病棟では、在宅復帰に向け多種多様な医療スタッフが支援を行っています。患者さんの出来ないことを全て代行するのではなく、「できること」を支援することが重要だと考えます。そのためには、皆で支えることが必要です。当病棟に入院する患者さんの多くは高齢であり、一人暮らしも珍しくありません。また入院中より薬剤の服用をしており退院後も継続が必要です。患者背景から、服薬コンプライアンス、薬剤管理上の注意事項など退院後に必要な情報を患者家族、保険薬局、医療ソーシャルワーカー等に情報提供し、退院後の適切な薬剤管理に繋げることが患者さんを支えることだと思います。今後も各々の高い専門性をもって、目的と情報を共有し、患者さんの状況に的確に対応し支援していきたいと思います。

看護部安全リンクナース会の活動について

看護部安全リンク会委員長　太田　絹子

安全リンクナース会は、病院の理念・看護部の理念に基づき、院内医療安全対策に取り組み、安心で安全な医療の提供に取り組む事を目的に、日々活動しています。
今年度の活動目標を以下のように挙げています。

＊薬剤誤薬の防止、安全対策の遵守
＊ルートトラブル防止対策が取れる
＊急変対応ができる
＊リンクナースの医療安全に対する意識・知識の向上

活動内容として薬剤確認ラウンドとルート状態確認ラウンドを各 2 回／年、インシデント事例分析やKYTトレーニング、部署での急変シミュレーションの実施などを行っています。安全管理を定期的に行うことにより、より早く危険を感知し、問題意識が喚起されることで各自のリスク感性を磨き、さらに現場にフィードバックしていくことが医療安全への動機・意識づけに繋がっています。

医療安全　医療安全推進週間　平成 29 年 11 月 19 日～25 日

医療安全推進週間「**いい医療に向かって GO**」（11 月 25 日を含む 1 週間）は、患者の安全を守る為、すべての医療関係者が協働して医療安全推進を図り，国民の皆様の理解や認識を深めていただく事を目的に、各医療機関等が安全な医療の提供を目標として、当院も毎年参画しています。

医療安全に関する標語募集

【募集期間】
平成 29 年 11 月 17 日～11 月 27 日
市民の皆様・病院職員より医療安全の標語を募集します。１階エントランスホールに昨年度の優秀作品を展示、応募箱を設置します。ふるってご応募ください。

院内　ヒヤリハット報告コンテスト

【対象期間】平成 29 年 11 月 1 日～12 月 31 日
【 対　象 】
対象期間中に報告された０レベル報告件数
【審査方法】
対象期間中に報告された０レベル報告をスタッフ一人当たりに換算してその数値で審査します。